

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年11月18日（月）
- 2 確認箇所
定検機材倉庫B（図1）
- 3 確認項目
横置き型ブルータンク除染・解体設備の設置状況

4 確認結果の概要

横置き型ブルータンク（以下「ブルータンク」という。）は、震災直後に増え続ける建屋内滞留水の移送先として使用されていた。その後、敷地利用の観点から縦型溶接タンクへの移行が進み、現在、当該タンクは水抜きの上、福島第一原子力発電所構内に仮置きされている。

東京電力は、定検機材倉庫B内にブルータンクの除染・解体設備を設置し、全367基の除染・解体を今年度から実施する計画としている。そのことから、汚染のない未使用タンクを用いたモックアップを11月から開始している。

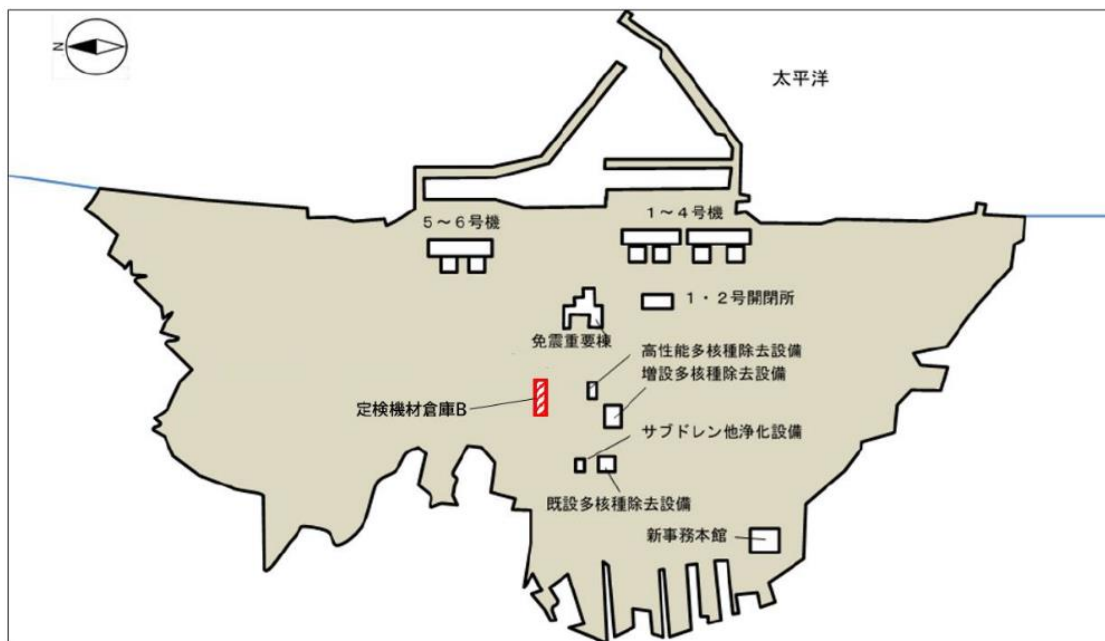
本日は、前回に引き続き、計画の進捗状況について確認した。（前回確認：[令和6年10月31日](#)）

【確認結果概要】

- ・定検機材倉庫B内には、除染・解体試験（モックアップ）に用いる汚染のない未使用ブルータンクが2基搬入されていた。うち1基は切断装置にて一部輪切りにされた状態で仮置きされていた。（写真1）
- ・解体片内面のFRP※を撤去するため、FRPにレーザーを照射し切り込みを入れる作業が行われていた。（写真2）
- ・作業環境中の放射性物質濃度を監視するためのダストモニタが設置されていた。（写真3）
- ・使用済タンクの除染・解体を今年12月に開始し、令和8年度末頃までに完了する予定としている。

※ FRP

プラスチックにガラス繊維や炭素繊維などを混合して強度を向上させた強化プラスチックの総称。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
定検機材倉庫B内の状況①



(写真1-2)
定検機材倉庫B内の状況②



(写真2)
レーザー照射装置の設置状況



(写真3)
ダストモニタの設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。